



日進市の東郷P Aにおけるスマート  
インターチェンジの企業等からの要望書

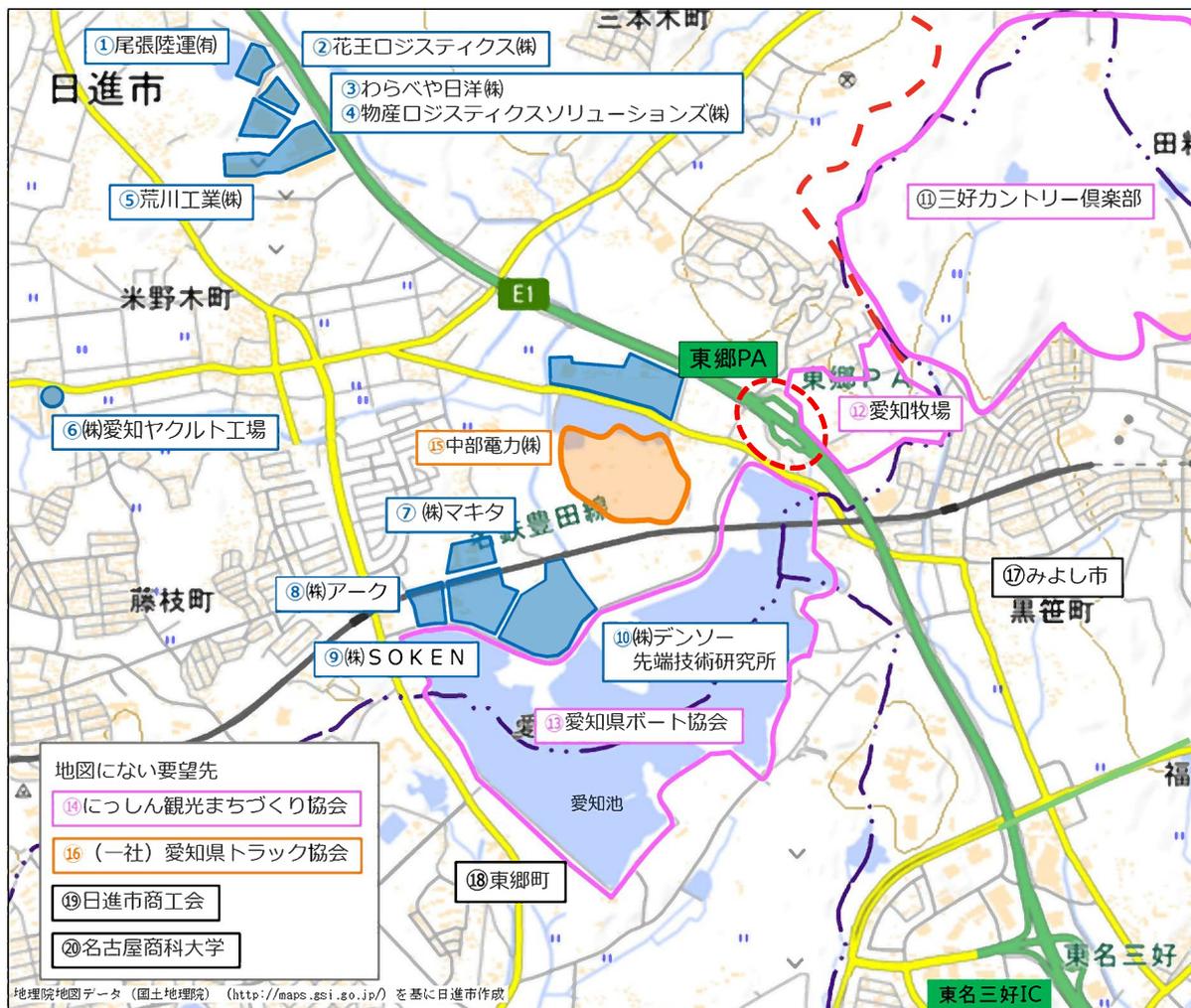
平成30年12月

日 進 市

# 企業等からの要望書（個所図）

(H30.12月時点)

種別	番号	企業名等(敬称略)	要望日	要望書受理日	備考
企業関連	①	尾張陸運(有)	H28.9.30	H28.9.30	
	②	花王ロジスティクス(株)	H30.2.10	H30.2.16	
	③	わらべや日洋(株)	H29.12.8	H29.12.12	
	④	物産ロジスティクスソリューションズ(株)	H28.11.7	H28.11.7	
	⑤	荒川工業(株)	H29.3.1	H29.3.1	
	⑥	(株)愛知ヤクルト工場	H29.2.6	H29.2.6	
	⑦	(株)マキタ	H29.2.7	H29.2.7	
	⑧	(株)アーク	H28.10.18	H28.10.18	
	⑨	(株)SOKEN(旧:(株)日本自動車部品総合研究所)	H28.9.20	H28.9.20	
	⑩	(株)デンソー 先端技術研究所(旧:基礎研究所)	H28.9.19	H28.9.19	
観光関連	⑪	三好カントリー倶楽部	H28.11.12	H28.11.12	
	⑫	愛知牧場	H30.7.25	H30.7.25	
	⑬	愛知県ボート協会	H30.9.8	H30.9.11	
	⑭	にっしん観光まちづくり協会	H30.4.27	H30.4.27	
大規模災害への対応	⑮	中部電力(株)	H28.10.24	H28.10.25	
	⑯	(一社)愛知県トラック協会	H30.11.6	H30.12.10	
自治体等	⑰	みよし市	H29.1.30	H29.1.30	
	⑱	東郷町	H29.2.6	H29.2.6	
	⑲	日進市商工会(第1回準備会時にHPでコメント公開)	H29.9.19	H29.9.19	
	⑳	名古屋商科大学	H30.7.12	H30.7.13	
合計		20			



日進市長 荻野 幸三様

日進市におけるスマート I C 整備の推進について

当社は、日進市藤島町長塚 74・15 にて運送・倉庫の事業を展開しており、生活関連雑貨やタイヤ保管業務の関係から、物流の要である広域交通網及び地域交通網の充実を期待しているところです。

しかしながら、当社の配送車の多くが東名三好 I C に向かうために通行する県道米野木萌生線は朝夕の渋滞が多く発生し、また交通事故も発生する箇所であることから、円滑な通行ができていないと言いつい難い状況であります。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマート I C は、P A 等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上し、物流の効率を高めるため、日進市内におけるスマート I C の早期整備を要望します。整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消及び事故発生の低減のための改良等も合わせて推進していただきますよう、併せて要望いたします。

平成 28 年 9 月 30 日

尾張陸運有限会社 代表取締役社長 伊藤敏彦

印



## 要望書

日進市長 萩野 幸三 様

### 日進市におけるスマート IC 整備の推進について

当社は、日進市にてコンビニエンスストア向けの調理済み食品の製造を行っており、受注から配送までを一貫して行っている関係から、広域道路ネットワークへの円滑なアクセスを必要としております。

スマート IC の整備につきましては、物流業務の安定・効率化に大きく貢献してくれるものと期待をしております。また、最寄りである東郷 PA との接続がもし可能になれば、物流の面だけでなく、日進市へのアクセス向上に伴い利用者の増加が予想されることから、地域活性化にも期待が膨らみ、交通渋滞の緩和も期待できると聞いております。

当社としては、遅滞なく安全に商品配送業務を行っていくことがお客様への信頼性向上にも繋がり、つきましては、広域道路ネットワークへのアクセス向上による物流の効率化を実施させて頂きたく、日進市内におけるスマート IC の早期整備を要望します。整備にあたり、是非、地域活性化につながる取り組みも合せて推進していただきますよう、併せて要望致します。

平成 29 年 12 月 8 日

わらべや日洋株式会社

名古屋工場 工場長

青木 俊光 印



## 要望書

日進市長 萩野 幸三殿

### 日進市におけるスマート IC 整備推進のお願い

当社は、日進市にて大手コンビニ配送事業を展開しており、物流の要である広域交通網及び地域交通網の充実を期待しております。

しかしながら、当社の配送車の多くが東名三好 IC に向かうために通行する県道米野木筋生線で、朝夕の自然渋滞及び事故渋滞に巻き込まれることが多々ある現状、円滑な通行による業務遂行が厳しい状況でございます。

そうした中、各地で整備が進んでいるスマート IC は、PA 等と簡易的な接続で、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮、地域の活性化にも大きく貢献していると聞きます。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上させるポイントとして、また物流の効率を高めるために、日進市内におけるスマート IC の整備展開を要望致します。

整備の際は、周辺道路の渋滞緩和策及び事故発生率が低減するような道路形態へ改良も合わせて推進頂きますよう、重ねて要望させていただきます。

平成 28 年 11 月 7 日

物産ロジスティクスソリューションズ(株)

日進共配センター

センター長 目黒 裕敬 印



日進市市長  
萩野 幸三様

日進市におけるスマートIC整備の推進について

当社は、日進市米野木町にて自動車部品製造の事業を展開しており、材料の引き取りやお客様への製品の納入による物流業務、又、日進市を中心とした近隣地域からの通勤から広域交通網及び地域交通網の充実を期待しております。

しかしながら、当社の物流車両や通勤者が通行する近隣の主要道路につきましては、三好ICへの行き来の車両による混雑が発生する県道米野木筋生線を中心として、朝夕の渋滞が多く発生し、また交通死亡事故も発生している地域であることから、円滑な通行ができているとは言い難い状況であります。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマートICはPA等に接続することから、間接的ではありますが当社にとって、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮すると共に、地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスの向上から物流の効率を高め、従業員の通勤の安全を確保する意味から、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望いたします。尚、整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消及び交通事故発生低減のための改良整備等も合わせて推進していただきますよう、併せて要望いたします。

平成29年3月1日

荒川工業株式会社  
取締役社長 坂井 陽二

印



日進市長 萩野 幸三 様

日進市におけるスマートIC整備の推進について

当社は、日進市にて乳酸菌飲料の製造の事業を展開しており、工場に來場される見学者の交通の便や関係会社の輸送ルートの関係から、広域交通網および地域交通網の充実を期待しているところです。

しかしながら、県道米野木筋生線は朝夕の渋滞が多く発生し、また交通事故も発生する箇所であることから、円滑な通行ができているとは言い難い状況であります。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマートICは、PA等に簡易に接続し、広域および地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献すると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上し、物流の効率を高めるため、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望します。整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消および事故発生の低減のための改良等も合せて推進いただきますよう要望いたします。

平成 29 年 2 月 6 日

日進市藤枝町前田 5 番地

株式会社愛知ヤクルト工場

代表取締役社長 藤ノ木 正仁 印



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマート IC 整備の推進について

弊社は、日進市にて、主に製品開発研究の事業を展開しており、研究開発のスピードアップの観点からも物流の効率化は欠かせません。また、製品開発に伴う各方面の協力会社からも広域道路ネットワークへの円滑なアクセスを必要としています。

現在、弊社及び取引先・得意先が東名高速道路を利用しています。今後、広域道路ネットワークへの円滑なアクセスにより、物流の効率化が製品開発の一助になると期待しています。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマート IC は、PA等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域道路ネットワークへのアクセス性を向上し、物流の効率を高めるため、日進市内におけるスマート IC の早期整備を要望します。整備にあたりましては、地域交通も円滑化の取り組みも合わせて推進していただきますよう、併せて要望致します。

平成 29 年 2 月 7 日

印  
株式会社 マキタ  
取締役社長 堀 司郎 印



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマートIC整備の推進について

当社は、日進市にて開発支援事業を展開しており、お取引先各社様とのアクセスの関係から、広域交通網及び地域交通網の充実を期待しているところであります。

しかしながら、当社への来訪者様が東名三好ICに向かうために通行する県道米野木筋生線は渋滞も多く発生し、交通事故も多発しており来訪者様にとって円滑に通行できる道路とは言えないと聞いております。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマートICは、PA等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上し、来訪者様の利便性を高めるため、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望します。なお、整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消及び事故発生の低減のための改良等も合わせて推進していただきますよう併せて要望いたします。

平成28年10月18日

大阪市中央区南本町二丁目2番9号

株式会社アーク

取締役社長 鈴木 康夫

印

日進市米野木町南山500番30号

株式会社アーク名古屋支社

支社長 藤井 務

印



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマートIC整備の推進について

当社は、公害防止と自動車の安全についての研究開発を行っており、西尾市から日進市への移転工事を進めております。当社の従業員は西尾市・岡崎市が中心で、日進市への移転後は、多くの従業員が高速道路を利用いたします。従業員の通勤および関係会社とのアクセスの関係から、物流の要めである広域交通網及び地域交通網の充実を期待しているところです。

しかしながら、東名三好ICに向かうために通行する県道米野木筋生線は、朝夕の渋滞が多く発生し、また交通事故も発生する箇所であることから、円滑な通行ができていたとは言い難い状況であります。当社が移転することで更に渋滞が悪化するのではと心配しております。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマートICは、PA等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上し、物流の効率を高めるため、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望します。整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消及び事故発生への低減のための改良等も合わせて推進していただきますよう、併せて要望いたします。

平成28年9月20日

(株)日本自動車部品総合研究所

代表取締役社長

山中康司

印



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマート I C 整備の推進について

当社は、日進市に研究開発拠点を設けており、遠方から来所する共同研究者をはじめとする来客の利便性向上や、本社が三河地区にあることもあり、三河からの高速通勤者の通勤時間短縮に効果が期待される広域交通網の充実を期待しているところです。

しかしながら、当社的高速通勤者の多くが東名三好 I C に向かうために通行する県道米野木筋生線は、朝夕の渋滞が多く発生し、また交通事故も発生する箇所であることから、円滑な通行ができているとは言い難い状況であります。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマート I C は、P A 等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上し、業務の効率を高めるため、日進市内におけるスマート I C の早期整備を要望します。整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消及び事故発生の低減のための改良等も合わせて推進していただきますよう、併せて要望いたします。

平成 28 年 9 月 19 日

株式会社デンソー 基礎研究所

所長 川原 伸章 印



日進市長 萩野 幸三 様

日進市におけるスマート I C 整備の推進について

当倶楽部は、日進、みよし、豊田市にてゴルフ場の事業を行なっており、来場者の利便性の向上のため、広域交通網及び地域交通網の充実を期待しているところです。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマート I C は、P A 等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上し、来場者の利便性を高めるため、日進市内におけるスマート I C の早期整備を要望します。整備にあたっては、新設される市道三本木・黒笹線への安全な接続、周辺道路の渋滞解消及び事故発生の低減のための改良等も推進していただきますよう、併せて要望いたします。

平成 28 年 11 月 12 日

印

三好カントリー倶楽部

理事長 滝 茂夫



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマートIC整備の推進について

有限会社愛知兄弟社は、1966年に当地に愛知牧場を開設以来、半世紀以上にわたり牧場事業を展開し、現在はさまざま牧場体験が楽しめる県内有数の観光牧場として、周辺地域のみならず遠方からも多くの観光客を集め、地域の活性化の一助を担わせていただいているところです。

牧場への主な来場手段は自家用車及び観光バスによることから、地域交通網及び広域交通網の充実による円滑なアクセスを期待しているところです。

しかし、現在、牧場南側の県道米野木筋生線は朝夕及び土日に渋滞が発生しており、特に、長期連休中は牧場入口を起点とした渋滞による苦情が地域住民よりいただくこともたびたびあります。また交通事故も発生していることから、安全、安心でスムーズな流れの道路整備ができているとは言い難い状況となっております。

合わせて、広域交通網である東名三好ICからの来場者も県道米野木筋生線の利用が主となるため、さらなる渋滞の原因となっております。

その様な中で、東郷PAにスマートICが開設されれば、県道米野木筋生線の交通量は増加し、更なる交通渋滞の要因となり、地域の住民の方々にも迷惑となると予想されます。

しかし、スマートICの整備は遠方からのこの地域へのアクセス性が格段に向上すると同時に東名三好ICとスマートICに高速利用の車両が分散することにより、東名三好IC周辺道路の渋滞緩和が期待されます。また、アクセス性の向上は地域及び日進市観光事業の更なる活性化に貢献するものと考えております。

つきましては、県道米野木筋生線の歩行者の安全確保、渋滞緩和とスムーズに流れる都市計画道路整備と併せて、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望いたします。

平成30年 7月 25日

有限会社愛知兄弟社 代表取締役社長 尾関 信一

印



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマートIC整備の推進について

愛知県ボート協会は、愛知県のボート競技力の向上、普及に努める団体として、主に愛知池で開催される多数の競漕会等の主催、後援等を担う組織として活動しております。

愛知池は現在、中日本レガッタや中部地区の学生大会をはじめ、多くの競漕会の会場として使用されており、ボート競技においては全国有数の規模の会場となっております。

競漕会の開催中は出場選手及び応援者、関係者が集まるのみでなく、艇の輸送も行われます。

その場合、自動車が主な交通手段となっておりますが、日進市内には高速道路のICが無く、関西方面から東名高速道路を利用する来訪者のほとんどが愛知池の横を通過し、東名三好ICで下りてから一般道を戻らねばならず、不便で狭いルートを通らざるを得ない状況となっております。

そのような中、各地で整備が進むスマートICは、PA等に簡易に接続することで広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、地域の活性化にも大きく貢献するものであると聞いております。

もし、愛知池に非常に近い東郷PAにスマートICが整備されれば、愛知池までの経路が非常に短くかつ分かりやすくなり、アクセス性が大幅に非常に向上することとなります。

また向上したアクセス性のよさを活かし、愛知池でのより大規模な競漕会の開催誘致も可能となり、ひいては地域スポーツのさらなる活性化に貢献できるものと考えております。

つきましては、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望いたします。

平成30年 9 月 8 日

愛知県ボート協会理事長 安藤 治 印



日進市長 萩野 幸三 様

### 日進市におけるスマートIC整備の推進について

にっしん観光まちづくり協会は、平成30年3月28日に設立し、日本版DMO形成に向けて、日進市内の多様な地域資源を磨き上げ、また新たに共創し、市民の観光ホスピタリティの涵養によって、日進市ならではの魅力として発信提供することで、誘客促進や経済効果につなげ、地域の発展、ひいてはシビックプライド（市民の愛着と誇り）と地域ブランド（地域の魅力向上）の醸成に寄与することを目的としています。

当協会は日進市内の商業・工業・農業等を営む団体等で構成されており、その経営する観光地等には、周辺地域はもとより、高速道路等を利用して遠方からも多くの客が来訪することから、観光地等への円滑なアクセスのため、地域交通網及び広域交通網の充実を期待しているところです。

しかしながら、遠方から市内の観光地等へ来訪するには、日進市内に高速道路のICが無く、最寄りのICから時間がかかる、経路がわかりにくい等、アクセス性が低いという課題もあります。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマートICは、PA等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、また地域活性化にも大きく貢献していると聞いております。

つきましては、東郷PAに新たな玄関口を整備し、地域交通網及び広域交通網の円滑化により、観光客の増加、観光地等までの時間短縮、観光地等までのわかりやすさの向上、ひいては当協会の目的の実現と、地域のますますの発展のため、日進市内におけるスマートICの早期整備を要望します。

平成30年4月27日

にっしん観光まちづくり協会 会長 中條 元男 印



## 要 望 書

日進市長 萩野 幸三 様

### 日進市におけるスマート I C 整備の推進について

当社は、電力を安定的に供給する公益企業であり、大規模災害時には電力供給設備の早急な復旧が責務であります。当社供給エリアでの大規模災害発生時には、当社日進総合運動場に復旧支援拠点を設置し、周辺地域の早急な復旧活動や遠方での復旧支援を行います。このことから、広域交通網を利用して支援物資や人員を移動させる必要があります。

現在、復旧支援拠点を設置する当社日進総合運動場から広域交通網へのアクセスは、東名三好 I C の利用を想定しておりますが、東名三好 I C へ向かうルートである県道米野木筋生線等は県の緊急輸送道路に指定されておらず、復旧に時間を要することが考えられます。また、同路線では朝夕の渋滞が多く発生し、また交通事故も発生していることから、災害時の円滑な通行確保を危惧しております。そこで、当社としては、東名三好 I C よりも近い日進市内に I C が整備されれば、災害時の車両通行確保に関するリスクを低減できると考えております。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマート I C は、P A 等に簡易に接続し、広域および地域交通の円滑化に効力を発揮していると伺っております。

つきましては、広域交通網へのアクセスを向上させ、大規模災害時の円滑な復旧活動を可能とするため、日進市内におけるスマート I C の早期整備を要望いたします。

整備にあたっては、周辺道路の渋滞解消および事故発生の低減のための改良等も併せて推進していただくとともに、災害時でもスマート I C が運用されることも含め、要望いたします。

平成 28 年 10 月 24 日

中部電力株式会社

総務部

職名

氏名

印



日進市長 萩野 幸三 様

## 日進市におけるスマート I C 整備の推進について

日頃は、本市の市政全般にわたり、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市の広域道路ネットワークは東名高速道路を主として、東名三好 I C へのアクセス道路となる豊田知立バイパス線や、名古屋市と豊田市を直結する一般国道 153 号などを併せ持ち、広域交通体系における本市の役割は重要なものと考えています。

そのような中、各地で整備が進んでいるスマート I C は、P A 等の既存施設を活用することにより、比較的容易に広域交通網へのアクセスを可能にし、地域生活の充実や広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮していると聞いております。

日進市においてスマート I C が整備されれば、物流における定時性の確保やリダンダンシーの確保といった企業活動を支援できるものと期待しており、地域交通の円滑化に向けて本市も連携協力していきたいと考えております。

つきましては、本市からの広域交通網へのさらなるアクセス向上のため、日進市内におけるスマート I C 整備の推進を要望します。また、I C 整備にあたり地域交通の円滑化のための取組も、本市と連携しながら推進していただきますよう、併せて要望いたします。

平成 29 年 1 月 30 日

みよし市長 小野田 賢治



日進市長 萩野 幸三 様

## 日進市におけるスマート I C 整備の推進について

本町は、名古屋市と豊田市の間に位置し、東西方向に国道 153 号バイパス線、南北方向に瀬戸大府東海線が走る自動車でのアクセスが良好な地域であり、東名三好インターチェンジへのアクセス利便性が優れる東部地域の幹線道路沿道の一部については、工業機能や物流機能を主体とした市街地の形成を図るため、都市計画法第 34 条第 12 号の区域として指定し、工場等の立地を推進しています。

また、現在本町中心部で推進している東郷中央土地区画整理事業は、計画人口約 2,400 人を予定していることに加え、広域拠点として魅力ある大規模商業施設の進出が予定されていることから、計画的にアクセス道路の整備を進めていく予定です。そのため、本町につながる広域道路ネットワークへの円滑なアクセスの確保については、今後、本町を含め広域的に計画していく必要があります。

現在、本町からの広域道路ネットワークへの接続は、東名高速道路の東名三好インターチェンジの利用が主となっていますが、とりわけ、本町の北部地域からの接続については、アクセス性が悪い状況となっています。

このような状況の中、全国各地で整備が進むスマート I C は、サービスエリア、パーキングエリア等に簡易に接続し、広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮していると聞いております。本町の隣接市である日進市においてスマート I C の整備が推進されることは、特に本町から名古屋・大阪方面へのアクセス向上及び高速道路アクセスの多重性の確保に寄与するものと大いに期待しております。

また、日進市におけるスマート I C 整備に伴う渋滞対策、周辺道路の改良等についても併せて推進していただきますよう、要望いたします。

平成 29 年 2 月 6 日

東郷町長 川瀬 雅喜



## 日進市の東郷PAにおけるスマートICの整備に対する

### 日進市商工会長のコメント

日進市の東郷PAにおけるスマートICの整備により、広域交通網が充実し、企業においては移動時間短縮の効果が期待されると考えております。

また、東郷PA周辺には、様々な観光地が立地していることから、スマートICが整備されることにより、アクセス性が向上し、観光地への流入が容易になることで、広域的な観光客の集客が見込まれ、商工業の活性化、ひいては産業の振興に大きく寄与するものと考えております。

さらには、スマートICの整備により、新たな企業の進出や雇用の創出も期待でき、利便性が向上することで、物流の動線が円滑となり、日進市の東郷PAにおけるスマートICが、本市商工業の発展に重要なゲートになることを期待しています。

平成29年9月19日

日進市商工会  
会長 福安克彦



日進市長 萩野 幸三様

日進市におけるスマート I C 整備の推進について (要望)

名古屋商科大学は 1968 年に名古屋市昭和区から日進市内の現在のキャンパスに移転以来、周辺地域のみならず多くの愛知県外出身者が通学しており、近年は毎年多くの海外留学生も受け入れております。

また、広大な敷地に多くの充実した施設を有することから、本学の学生の教育研究に限らず、学生スポーツ（東海学生サッカーリーグ戦および愛知大学野球リーグ戦）の大会やさまざまな会議等にも利用されており、広域の視点でも教育、文化およびスポーツ交流の一助を担わせていただいているところです。

一方、遠方から本学キャンパスへ来訪するには、自動車が主な交通手段となっておりますが、日進市内には高速道路の I C が無く、最寄りの長久手 I C からは愛知県道 6 号力石名古屋線における前熊東交差点までの交通渋滞、また東名三好 I C からは経路がわかりにくい等、アクセス性が低いという課題もあります。

このような現状の中、全国各地で整備が進むスマート I C は、P A 等に簡易に接続することで広域及び地域交通の円滑化に効力を発揮し、地域の活性化にも大きく貢献するものであると聞いております。また、日進市の「道路整備と企業誘致を核にしたまちづくり」によると、市道黒笹三本木線の整備の推進が挙げられており、日進市内にスマート I C が整備され、かつ市道黒笹三本木線が開通したあかつきには、中部国際空港セントレア及び遠方から当該キャンパスまで、アクセス性が非常に向上することが期待されます。

これらにより、本大学においても、名古屋市等の市街地からのアクセス性の向上、本大学の留学生の増加、スポーツの公式大会及び国際会議等の開催の増加等が期待され、地域のさらなる活性化および国際化に貢献できるものと考えております。

つきましては、日進市内におけるスマート I C の早期整備を要望いたします。

平成 30 年 7 月 12 日

学校法人栗本学園

名古屋商科大学 学長 栗本 宏

印

